

高崎商科大学短期大学部・平成 31 年度運営方針

高崎商科大学短期大学部・学長

I 前文

〈社会環境の変化・対応〉 1 少子高齢化 2 第 4 次産業革命 3 ローカル化・グローバル化

- ・自主・自立の建学の精神に立ち、本学の「社会的価値」(USR)を高める
- ・「実学教育」「人間教育」「地域社会への貢献」の教育理念に基づき、ビジネス社会の即戦力となる人材を育成する。「知の拠点」として、地域社会と交流しその発展に積極的に貢献する

II 課題と展望

- 1 学生を「面倒見よく育てる大学」として、地元で最も信頼される短期大学をめざす
 - ・学生生活満足度の高い・資格と就職に強い「地域密着型の短期大学部ブランド」(TUC)を確立する。
- 2 教学体制の確立
 - ・入学・収容定員の確保・就職内定率(満足度)100%をめざす
 - ・アウトキャンパススタディを充実、ロングキャリア力を養成する
 - ・アセスメントポリシーを導入し、教育の質向上を図る
- 3 今後の展望
 - ・2020 年度開始の英語・編入コースを成功させる。社会人向け教育の充実を図る。
 - ・附属高校・地元高校との連携を維持・強化する

III 大学運営

- 1 教育と研究
 - ・アクティブラーニングを取り入れ、感動を与える授業・教育に努める
 - ・地域社会の要請に応じて研究を進め、その成果を還元する
- 2 学生生活
 - ・学習・生活満足度を高め、就活・進路支援を行い卒業までよく面倒をみる
- 3 社会・地域貢献
 - ・社会・地域貢献(公開講座、地元・地域の活性化支援)に努める
- 4 広報戦略・IR 活動を強化
 - ・ステークホルダーに向けて広報活動・情報発信を充実させる
 - ・学内外のデータを収集・分析し、運営に活用する
- 5 組織人としての行動
 - ・教職員らしい品位を保ち、法令や規律を遵守し、快適な職場環境を確保する
 - ・FD 活動と SD 活動を連携させ、教職協働により大学運営とその改善に取り組む
 - ・普段から経費の節減に努める
- 6 対外関係
 - ・産官学金言民の連携、国内・海外の大学等との連携を維持・強化する
 - ・国の補助事業等に応募申請する

※「運営方針」を組織・個人目標に落とし込み PDCA(計画・実行・評価・改善)を実践する